

## 1 目指す学校

### スクール・ミッション

建学の精神である「清純・明朗・強健」の校訓のもと、「自己実現のために自ら学び自ら考え行動する生徒の育成を図るとともに、人権尊重の精神を涵養する」を教育目標とし、「キャリア教育の深沢」として、一層進展させたキャリア教育などの教育活動を通じて生徒一人一人に社会貢献の志を育み、真に社会人として自立した人材を育成します。

### スクール・ポリシー

#### (1) グラデュエーション・ポリシー【生徒育成方針】

基礎・基本を身に付けさせ、主体的に考えさせる授業を行い、学校活動の全てがキャリア教育と理解する。また、規律ある生活指導を行い、人権意識を高めていく。

#### (2) カリキュラム・ポリシー【教育課程編成・実施方針】

習熟度別授業、少人数編授業の活用、ICT機器等の活用で言語活動の充実を通し、自主的に学ぶ環境を維持する。また、週末の課題、講習、補修を継続的に高い目標に立った進路実現につなげていく。

#### (3) アドミッション・ポリシー【生徒募集方針】

教育目標を理解し、本校を志望する目的が明確である生徒

自己実現に向けて自主的に考え、自発的・積極的に努力する生徒

礼儀やマナーを守り、身だしなみを整え、日々の授業を大切にし、意欲的に取り組む生徒

様々な検定や資格を積極的に取得しようと考えている生徒

特別活動、部活動、行事に積極的に取り組み入学後も継続して取り組む意思のある生徒

## 2 中期的目標とその方策

### (1) 学習指導

豊かで高次の学びを目指し、新たな授業実践に取り組み、生徒一人ひとりが自ら学び続ける力を引き出す。

### (2) 進路指導

系統的なキャリア教育を推進し、進路意識の啓発を図るとともに、高い目標に立った進路希望を実現する。

### (3) 生活指導

豊かな学びと健やかな成長を支えるため、一人ひとりの生徒理解に努め、自分らしく輝ける生徒を育成する。

### (4) 特別活動

学校行事や部活動等協働・自治活動を通して、主体性、社会性を育むよう生徒を支援し、特別活動を充実させる。

(5) 学校経営

全教職員が組織的に学校運営に参画し、改編に向けて柔軟かつ迅速に対応していきながら安定した学校運営を目指す。

(6) 地域等連携

社会に求められる学校として教育活動を行い、地域連携を強く深め、地域に根ざしていく。

(7) 募集・広報

学ぶ意欲があり、挑戦したい生徒が安心かつ積極的に活動できる学校教育内容を発信し続ける。

(8) 防災・安全

安全環境の確保、訓練の確実な実施、危機管理意識の向上、自助・共助に備える。

(9) 教務部

適切な教育課程の実施のため、学校教育活動の調整及び学校運営の進行管理を行う。

(10) 研究開発部

受入環境充実校として関係する項目全てを中心となって進め実行に移す。

(11) 進路指導部

より高次の進路実現に向けた系統立てた進路指導を実施する。

(12) 生徒指導部

生徒指導、学校行事及び自治活動等に関して各分掌と調整しながら推進させる。

(13) 総務部

募集対策、式典、他分掌支援等を行う。

### 3 今年度の取組目標

(1) 学習指導

ア 多角的な視点持たせ、より深く考え、より良い解決策を考えさせ、教科のおもしろさ、学びの楽しさを追求

イ デジタルの活用及び教科等横断、探究的な学びの強化

ウ 個別最適かつ多様な学びを実践

エ 生徒理解に努め学習状況を把握し、適切な学習環境設定及び資格取得支援を実施

オ 年間授業計画に基づき計画的な授業実施、主体的な学習意欲の喚起、可能性及び能力の最大限の伸長

(2) 進路指導

ア 3年間を見通した系統的なキャリア教育計画の実践、社会的・職業的自立意識の醸成

イ 適時・適切に進路情報を提供

ウ 挑戦を支援し、高次の進路希望を実現するため、生徒一人ひとりの進路活動の進行管理徹底

(3) 生活指導

ア 健康かつ安全な学校生活をするための環境整備及び生徒の自己管理能力の育成

イ お互いの人権を尊重し、他者を思いやる心の育成、自主自律の精神を育成

ウ 授業規律、協働活動を推進

(4) 特別活動

- ア 学校行事や部活動等が生徒主体の活動、挑戦の場となるように工夫・改善・支援を実施
- イ 協働・集団活動を通じた社会性の育成
- ウ 次代を担う人材として、活気ある学校生活の場となるような支援の実施

(5) 学校経営

- ア 生徒の挑戦を支援し、教職員自らも成長する組織体となるような仕組みを構築
- イ DX化のより一層の推進
- ウ 教職員が率先してマインドチェンジし、生徒の学習及び学校生活を支援
- エ 未来志向の組織的な学校運営を実施
- オ 教育公務員としての高い使命感・倫理観をもち、服務規律を遵守するとともに、協働意識を向上させ、職場環境のウェルビーイングやライフ・ワーク・を高めていく適切な業務遂行
- カ 経営企画室における業務の適正化を図り、合理的かつ円滑な執行管理

(6) 地域等連携

- ア 外部専門家及び地域等との連携による生徒の学びを支援
- イ 地域等との積極的な交流により社会とのかかわりや社会課題を理解
- ウ 地域とともに自他の生命尊重を基盤とした生徒の健全育成推進

(7) 募集・広報

- ア 生徒にとってより充実した学校生活となるよう教育活動を実践
- イ 教育活動の様子を中学生やその保護者等に伝わるように、丁寧かつ速報性を意識した広報活動を実施

(8) 防災・安全

- ア 安全管理、危機管理の徹底
- イ 安全管理、危機管理に対する意識の向上
- ウ 自助・共助の精神育成、訓練の実施

(9) 教務部

- ア 適切な教育課程の実施のため、学校運営の進行管理の徹底
- イ 生徒の安定した学校生活を支えるための調整
- ウ 研究開発部と協力して新たな教育課程を検討

(10) 研究開発部

- ア 受入環境充実校としてオンデマンド教材等による単位認定を検討
- イ 生徒が安心して登校し、学びたくなる授業を実施している学校を目指した学校生活内容を検討

(11) 進路指導部

- ア 3年間を見通した系統的なキャリア教育計画を実施
- イ 探究活動と連携した進路活動の検討及び実施

(12) 生徒指導部

- ア 生徒活動を支える生徒指導の実施
- イ 授業規律指導の徹底
- ウ 防災、美化活動の推進
- エ 放課後活動の整備

(13) 総務部

- ア データ分析に基づいた業務計画を作成
- イ 募集・広報活動を適時適切に実施
- ウ 執務室等の環境改善及び整備の実施

4 今年度の取組方策

(1) 学習指導

- ・ 俯瞰し全体を窺て根本を知る力、課題設定から情報収集、分析、協働、まとめ、発表まで一連の過程を進め、論理的思考力、言語力を高める。
- ・ DX の推進、体験・実践型の授業を実施する。
- ・ AI を用いた学習による学力向上を支援する。
- ・ 面談情報及びデータ分析に基づいた教科指導、資格取得の支援、外部連携による学習支援を実施する。
- ・ 年間授業計画に基づき計画的な教科等横断授業を実施、発展的な学習を展開する。
- ・ 多様な学びの実践に向けて、相互授業見学の実施及び研修の全員参加、授業評価結果の活用、外部専門家との連携を実施する。

主体的な学習への取組み評価 90%以上

DX 活用授業 90%以上

授業満足度 90%以上

国際教育活動参加率 80%以上

コンテスト等イベント参加 3 回以上

週末自宅学習時間 2 時間以上 80%以上

全教科多様な学びの実践

(2) 進路指導

- ・ 進路指導部・研究開発部を中心に、学年、各分掌が連携し組織的にキャリア教育を実施する。
- ・ デジタルを活用して、生徒の希望する進路の実現に向けた指導を行う。
- ・ 学校外での交流活動を促進させ、インターンシップ、ボランティア等、生徒が自ら選択し自主的に活動できるように環境整備する。
- ・ 国際理解教育の推進、関連事業の参加、資格取得指導等を強化しグローバル教育を充実する。

進路決定率 100%

進路指導満足度 90%以上

インターンシップ及びボランティア活動参加率 90%

学校外活動参加率 50%以上

グローバル教育満足度 80%以上

(3) 生活指導

- ・ 時代や状況の変化に柔軟かつ迅速に対応する。
- ・ 教育相談、特別支援教育、外部専門家や地域との連携、居場所整備を推進させ、個別最適な支援を実施する。

- ・ 充実した授業展開のため授業規律を徹底する。
- ・ デジタルを活用して学校生活を支援する。
- ・ SOS の出し方教育、いじめの未然防止・早期発見・早期対応を行う。

学校生活満足度 90%以上

外部専門家活用満足度 90%以上

コンディションレポートの通年実施

専門家と連携したケース会議月 1 回以上

#### (4) 特別活動

- ・ 生徒主体の異学年活動の充実に向けて支援を行い、生徒会や委員会活動等の活発化を目指す。
- ・ 学校行事や部活動等を通じた挑戦の機会を支援し、社会性を育てるための活動支援を行う。
- ・ 校内美化の推進、日本の伝統文化の精神の涵養及び国際理解をさらに促進する。

部活動等加入率 80%以上

行事参加率 90%以上

生徒会活動満足度 80%以上

生徒提案サークル・研究会発足

#### (5) 学校経営

- ・ 企画調整会議及び研究開発部、教務部を中心に進行管理を行い、複数協働業務遂行を基本とし、学年を支えつつ迅速かつ安定した改革型学校運営を行う。
- ・ 適切な生徒対応、服務規律の厳正・徹底、情報資産の厳密な管理、情報の共有化と会議の効率化、協働体制の拡充、勤務体制の整備、産業医等専門家による面談を実施する。
- ・ 適切かつ迅速な業務執行、計画的な事務執行により学校運営を円滑にする。
- ・ 生徒一人一台端末の利用実績向上、デジタル技術の積極活用等ハイブリッドな学校運営及び校内業務遂行に移行する。

教職員の在校時間の適切な管理 超過勤務時間前年度比 10%減

年間年休取得 15 日以上

一般需用費センター執行割合 70%以上

服務事故根絶

#### (6) 地域等連携

- ・ 地域等と授業、生徒会、委員会、部活動の連携を促進し授業及びキャリア教育の内容を深める。
- ・ 学校運営連絡協議会による学校評価、PTA や同窓会との連携、奉仕活動・部活動を通じた近隣小学校・中学校及び地元商店街との積極的な交流を実施し、開かれた学校教育を行う。

地域等との連携評価 90%以上

キャリア教育満足度 90%以上

#### (7) 募集・広報

- ・ 進路実現につなげられる教育活動を実施することで、学校生活の様子や良さが中学生にも伝わるように、日常の教育活動を積極的に発信する。
- ・ 学校説明会、中学校及び塾訪問等を組織的に実施し、改編に向けた情報を適時適切に伝えていく。

中学校・塾等への訪問校数 150 校以上  
学校説明会への来校者数 1000 人以上  
ホームページの更新 1000 回以上

(8) 防災・安全

- ・ 防災訓練や避難訓練を通じた、防災に対する校内体制整備及び環境整備を行う。
- ・ 防災訓練やセーフティ教室等において、警察や消防署等との連携を一層強化し、生徒の防災・安全意識をより一層高める。

施設・設備の定期的な安全管理・点検の実施  
安全意識の向上 90%以上

(9) 教務部

- ・ 安定した学校運営を行うため、DX 化をより一層推進し、企画調整会議を中心に事前の準備段階から進行管理を行い、点検確認を徹底の上、各分掌と情報共有を密に行う。
- ・ 生徒の多様な学びを支え卒業まで支援する。
- ・ 業務マニュアル、アサインメントを改善する。
- ・ 研究開発部と連携して受入環境充実校として教育課程を整備する。

(10) 研究開発部

- ・ 教務部及び進路指導部と連携して受入環境充実校として教育課程を整備する。
- ・ 校内環境整備を検討及び実施する。
- ・ 探究活動を教務部及び進路指導部と連携しながら進行管理する。

(11) 進路指導部

- ・ 学年進路担当と連携を密にした指導を実施し、より高次の進路実現を目指す。
- ・ アントレプレナーシップ教育を実施する。
- ・ 探究活動を教務部及び研究開発部と連携しながら進行管理する。

(12) 生徒指導部

- ・ 生徒の自主性を引き出す支援を行う。
- ・ 授業規律指導を整理し、授業環境整備を行う。
- ・ 安心・安全な学校環境、防災意識の向上を図る。
- ・ 部活動等を合理的、効率的、効果的に実施する。
- ・ 多様な自治活動を支援し、主体性を育てる。

(13) 総務部

- ・ 儀式的行事の適切な進行管理を行う。
- ・ 随時広報情報を更新し新鮮な情報を発信する。
- ・ 他分掌と調整し職場環境改善を推進させる。